

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語ⅢA(0252)	
<b>科目基礎情報</b>						
科目番号	0072		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	『Unicorn English Communication 2』文英堂. 石黒昭博監修 『Forest』、桐原書店、2007. 『NextStage』、桐原書店、2011. 『速読英単語』Z会 2012.					
担当教員	菊池 秋夫					
<b>到達目標</b>						
英語4技能のバランスのとれた発達を促すという教科全体の目標の中で、この科目では、基礎的な文法・語法・語彙などをさらに学ぶ。語彙力は、高校1-2年生でマスターしておきたい基本語400-530語を身につける						
<b>ルーブリック</b>						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	基礎的な文法などを80%以上理解できる	基礎的な文法・語法などを60%以上理解できる	基礎的な文法・語法などを50%以上理解できる			
評価項目2	語彙力は、高校1-2年生でマスターしておきたい基本語400-530語を80%以上身につける	語彙力は、高校1-2年生でマスターしておきたい基本語400-530語を60%以上身につける	語彙力は、高校1-2年生でマスターしておきたい基本語400-530語を50%以上身につける			
評価項目3	英検準2級リーディングの文章を80%以上理解し要約できる	英検準2級リーディングの文章を60%以上理解し要約できる	英検準2級リーディングの文章を50%以上理解し要約できる			
<b>学科の到達目標項目との関係</b>						
学習・教育到達目標 A 学習・教育到達目標 D						
<b>教育方法等</b>						
概要	基礎的な文法・語法・語彙などをさらに学ぶ。語彙力は、高校1-2年生でマスターしておきたい基本語400-530語を身につける					
授業の進め方・方法	英文の読解、文法事項の解説、語句の活用練習、発音練習、文化的背景の説明を行う。文法や語彙力を実践的に身につけ、読解力をつけるために、多読学習でショートストーリーを数多く読む。毎週小テストを実施する。また、インプットした力を試すための作文課題を中心に指導を行う。					
注意点	予習として教科書の本文を黙読して本文の質問に答え、何度も音読すること。さらに、単語・熟語を調べ、指定された箇所の意味を日本語で書くこと。2) 読解力を伸ばすために、ショート・リーディングの課題を毎週すること。週1回、単語・熟語を中心とした小テストを行う。3) 英語力向上においては、学生自身による反復練習を含む授業以外の学習なしではありえない。ラジオやテレビの英語学習番組を視聴したり、字幕付き洋画を見たり、英字新聞を読むなどの自習も求められる。					
<b>授業計画</b>						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	Introduction			
		2週	Just My Type:分詞構文	分詞構文を活用できる		
		3週	Just My Type:同格のthat	同格のthatを理解できる		
		4週	The Power of Choosing:比較	特殊な比較表現を使用できる		
		5週	The Power of Choosing:名詞構文	名詞構文を理解できる		
		6週	Global Water Issues: 複合関係詞	複合関係詞を活用できる		
		7週	復習			
		8週	到達度試験			
	2ndQ	9週	Global Water Issues:譲歩表現	譲歩表現を活用できる		
		10週	The Diving Bell:独立分詞構文	独立分詞構文を活用できる		
		11週	The Diving Bell:目的構文	目的を示す構文を活用できる		
		12週	What is Uniquely Human:仮定法	特殊な仮定法を活用できる		
		13週	What is Uniquely Human:時制	特殊な時制を活用できる		
		14週	復習			
		15週	復習			
		16週	到達度試験			
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標</b>						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発音できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	

			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
			自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
			毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
			自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0